



2006年7月12日

06. 5期 中間決算説明会

Food, for ages 0-100

06. 5期 中間業績報告

- (注)
- ・表示単位未満の数値を四捨五入しています。
 - ・「限界利益」は売上総利益から販売促進費や物流費などの販売直接費を控除した利益です。

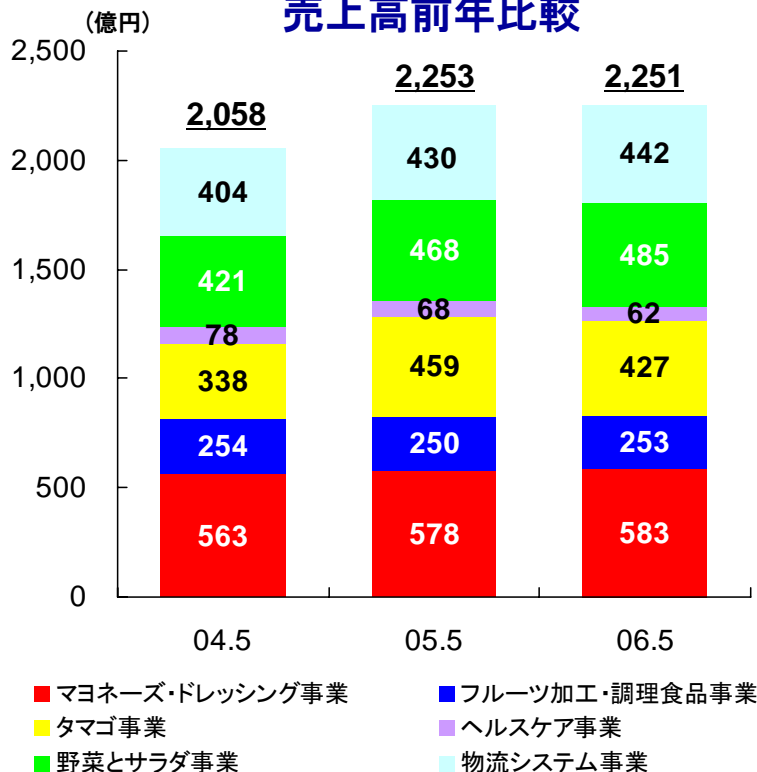
中間業績まとめ

利益回復、営業利益20億円増

	05.5期	06.5期	前年差	前年比	(億円) 06.5期 期初計画
売上高	2,253	2,251	△2	99.9%	2,269
営業利益	58	78	+20	134.5%	77
経常利益	56	78	+22	139.3%	75
中間純利益	22	32	+10	145.5%	32

野菜とサラダ・物流システム事業の増収で前年並みを確保

売上高前年比較

マヨネーズ・
ドレッシング事業

- マヨネーズ市場が伸び悩む中、サラダまわり調味料は拡大
- 健康訴求タイプが着実に伸長

健康訴求タイプマヨネーズ前年比122%

タマゴ事業

- 鶏卵相場差による影響△42億円

ヘルスケア事業

- 医薬向け設備販売、育児食が減収
- 流動食は堅調に推移

野菜とサラダ事業

- 惣菜・サラダ、カット野菜が順調に拡大
- CVSベンダーの増収も貢献

物流システム事業

- 専用センターの受注拡大が寄与

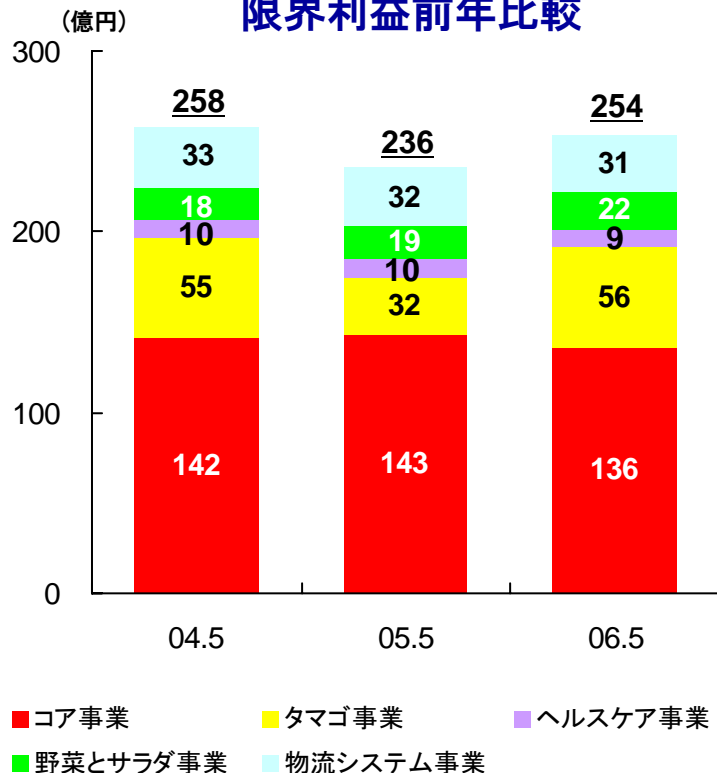
06.5期の状況 (詳細数値 P.13)

(億円)

	06.11 期初計画	05.5	06.5	前年増減	前年比	進捗率
マヨネーズ・ ドレッシング事業	1,191	578	583	5	100.9%	49.0%
フルーツ加工・ 調理食品事業	505	250	253	3	101.2%	50.1%
タマゴ事業	877	459	427	△32	93.0%	48.7%
ヘルスケア事業	152	68	62	△6	91.2%	40.8%
野菜とサラダ事業	983	468	485	17	103.6%	49.3%
物流システム事業	892	430	442	12	102.8%	49.6%
合計	4,600	2,253	2,251	△2	99.9%	48.9%

タマゴ事業が牽引し限界利益拡大

限界利益前年比較



コア事業

- マヨネーズの購買促進強化による販促費増が影響
- フルーツ加工・調理食品事業は微減

タマゴ事業

- 販売価格改善効果、付加価値化などで増益

野菜とサラダ事業

- 売上が寄与
- 生産精度向上など合理化の効果が現れる

物流システム事業

- 燃料コスト高を圧縮するがカバーできず

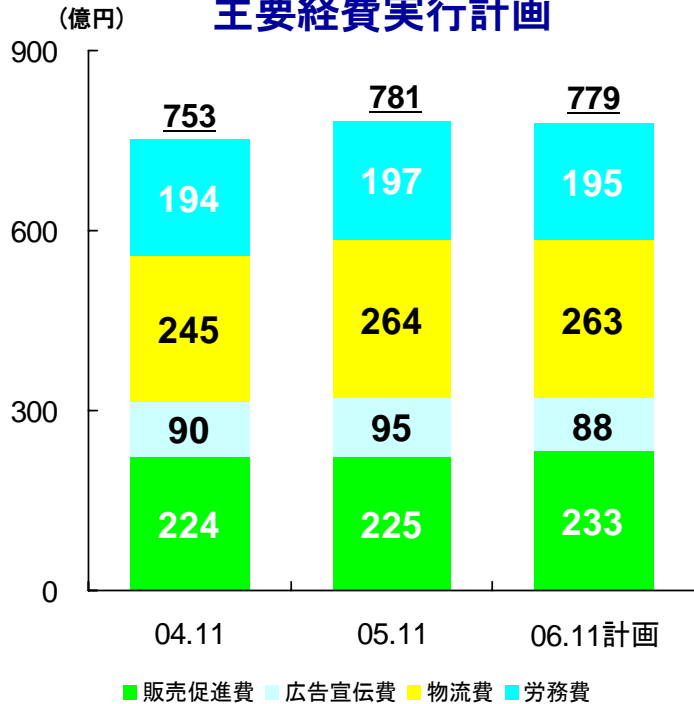
06. 5期の状況 (詳細数値 P.13)

(億円)

	06.11 期初計画	05.5	06.5	前年増減	前年比	進捗率
コア事業	268	143	136	△7	95.1%	50.7%
タマゴ事業	110	32	56	24	175.0%	50.9%
ヘルスケア事業	23	10	9	△1	90.0%	39.1%
野菜とサラダ事業	52	19	22	3	115.8%	42.3%
物流システム事業	65	32	31	△1	96.9%	47.7%
合計	518	236	254	18	107.6%	49.0%

販促費を購買促進・商品育成に積極投入

主要経費実行計画



販売促進費・広告宣伝費

- マヨネーズ市場の活性化に向けた購買促進を展開
- キューピーディフェ、パスタソースなど育成強化

労務費

- 退職給付関連費用の減少

06.11期実行計画の内訳

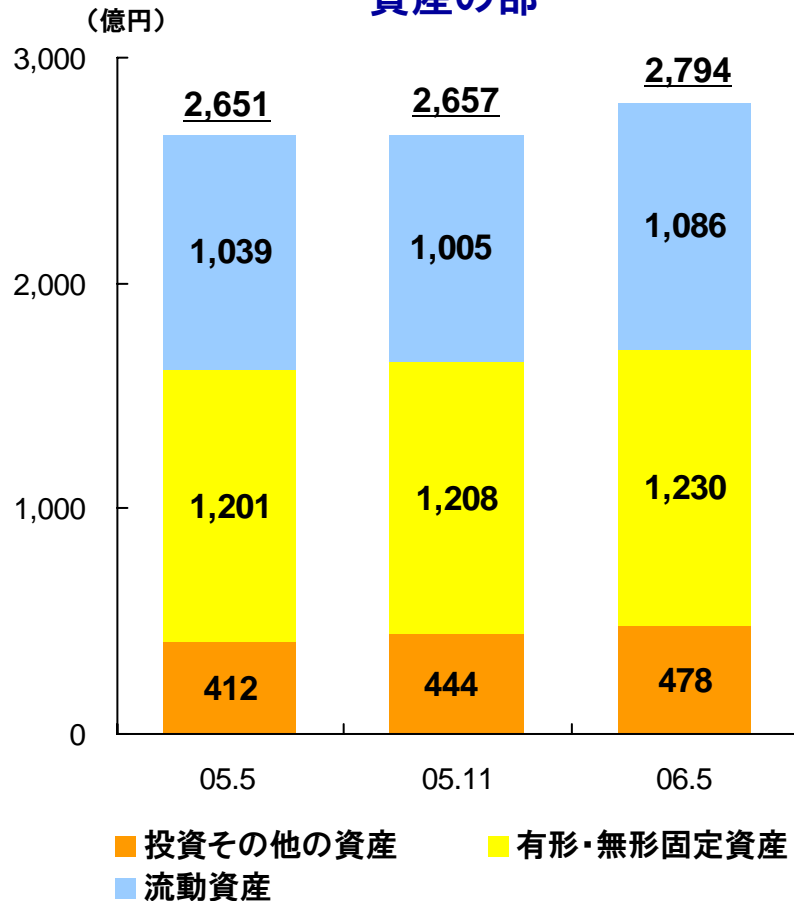
	(億円)			
	05.11	06.11計画	前年増減	前年比
販売促進費	225	233	8	103.6%
広告宣伝費	95	88	△7	92.6%
物流費	264	263	△1	99.6%
労務費	197	195	△2	99.0%

06.5期の状況

	(億円)			
	05.5	06.5	前年増減	前年比
販売促進費	104	112	8	107.7%
広告宣伝費	48	46	△2	95.8%
物流費	129	129	0	100.0%
労務費	99	95	△4	96.0%

総資産のポイント

資産の部



※ 繰延資産は投資その他の資産に含めて表記しております

05. 11期との比較

流動資産は81億円増加

- 現預金の増加 + 3億円
- 営業債権の増加 + 61億円
- たな卸資産の増加 + 7億円

《在庫回転率は前年維持》

有形・無形固定資産は22億円増加

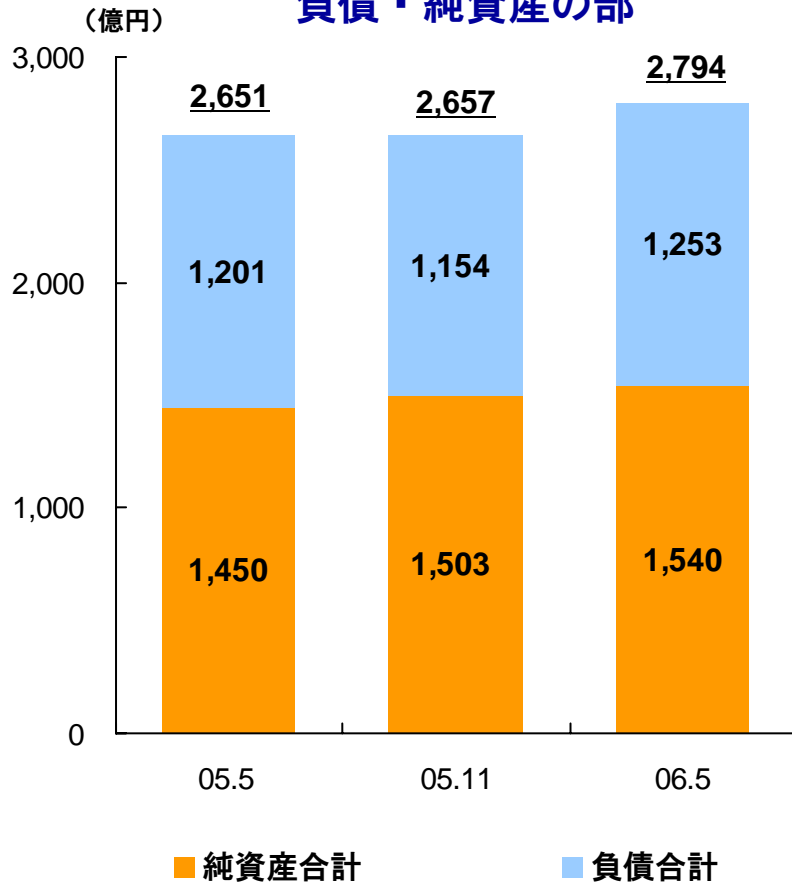
- 取得による増加 + 84億円
- 減価償却による減少 △58億円

投資その他の資産は34億円増加

- 投資有価証券は株式評価上昇等 + 19億円
- 前払年金費用の増加 + 25億円

負債・純資産のポイント

負債・純資産の部



05. 11期との比較

負債は99億円増加

- 営業債務の増加 +27億円
- 借入金の増加 +48億円
- 未払法人税等の増加 +18億円

純資産は37億円増加

- 少数株主持分の増加 + 5億円
- 利益剰余金の増加 +21億円
- その他有価証券差額金の増加 + 6億円

※ 少数株主持分は純資産に含めて表記しております

キャッシュ・フローのポイント

(億円)

	05.5	06.5	増減	増減の内容
営業活動による キャッシュ・フロー	10	40	30	・税金等調整前中間純利益の増加 20 ・たな卸資産の減少 14
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 68	△ 90	△ 22	・有形固定資産の取得による支出の増加 △28
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 11	43	54	・借入金による増加 44 ・社債の発行による増加 5
現金及び現金同等物 の増減	△ 69	△ 7	62	
現金及び現金同等物 の中間期末残高	96	125	29	

06.11期 実行計画

- (注)
- ・表示単位未満の数値を四捨五入しています。
 - ・「06.11期 実行計画」は、06.5期の業績を考慮した計画です。
 - ・「限界利益」は売上総利益から販売促進費や物流費などの販売直接費を控除した利益です。

06.11期 実行計画

06.11期営業利益の計画達成を見込む

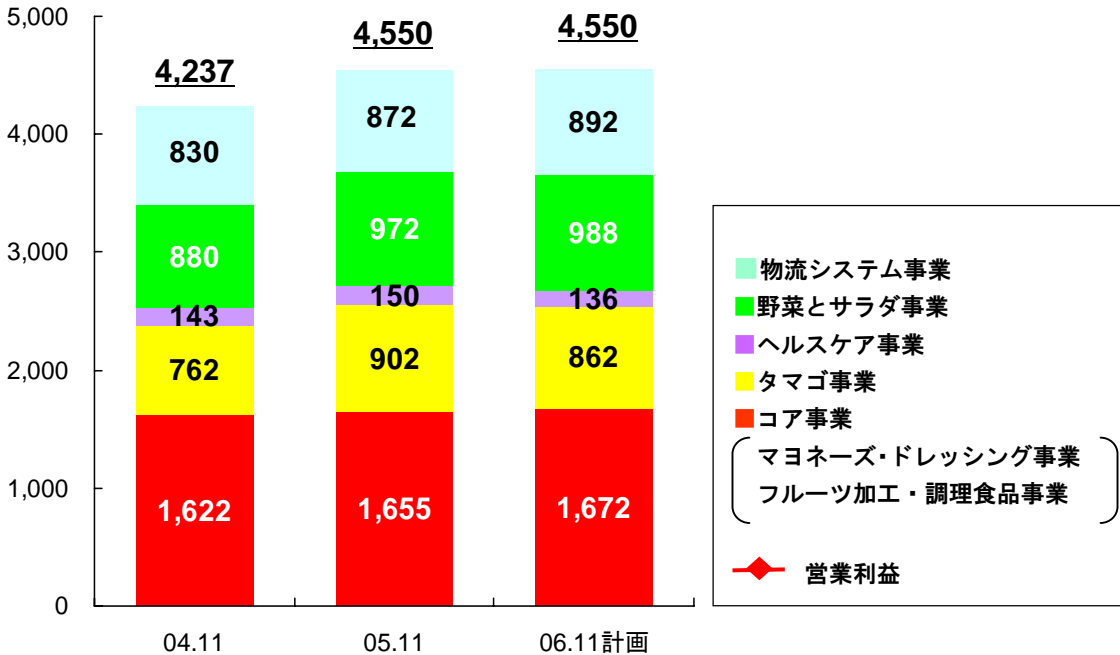
(億円)

	05.11期	06.11期 実行計画	前年差	前年比	06.11期 期初計画
売上高	4,550	4,550	±0	100.0%	4,600
営業利益	128	158	+30	123.4%	158
経常利益	128	154	+26	120.3%	154
当期純利益	55	70	+15	127.3%	70

06.11期 事業別実行計画

事業別売上高計画

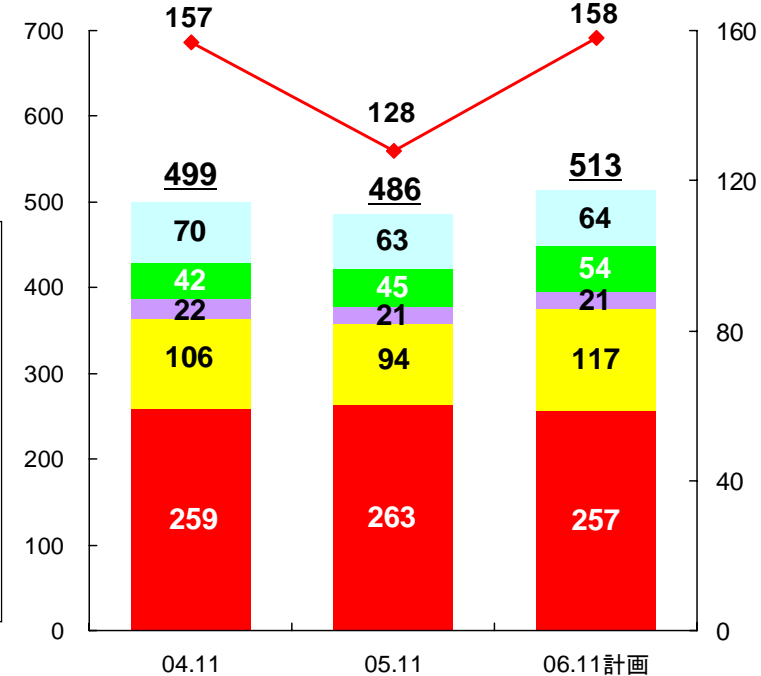
売上高 (億円)



事業別利益計画

限界利益 (億円)

営業利益 (億円)



<売上高の内訳> (詳細数値 P.13) (億円)

	04.11	05.11	06.11計画	前年差	前年比
コア事業	1,622	1,655	1,672	17	101.0%
タマゴ事業	762	902	862	△40	95.6%
ヘルスケア事業	143	150	136	△14	90.7%
野菜とサラダ事業	880	972	988	16	101.6%
物流システム事業	830	872	892	20	102.3%
合計	4,237	4,550	4,550	0	100.0%

<限界利益の内訳> (詳細数値 P.13) (億円)

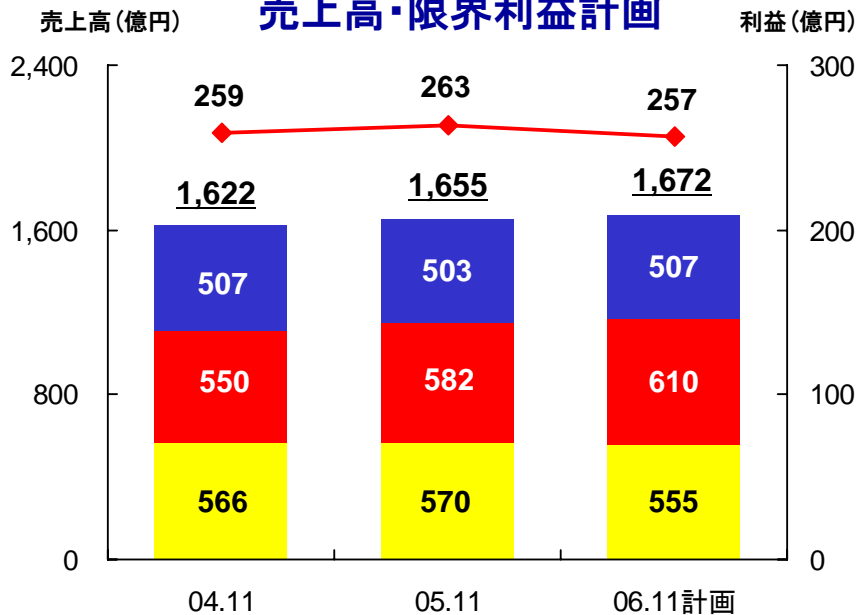
	04.11	05.11	06.11計画	前年差	前年比
コア事業	259	263	257	△6	97.7%
タマゴ事業	106	94	117	23	124.5%
ヘルスケア事業	22	21	21	0	100.0%
野菜とサラダ事業	42	45	54	9	120.0%
物流システム事業	70	63	64	1	101.6%
合計	499	486	513	27	105.6%

※ 06.11計画の鶏卵相場変動による売上高への影響は、前年比52億円減としています。

コア事業

タマゴ事業

売上高・限界利益計画



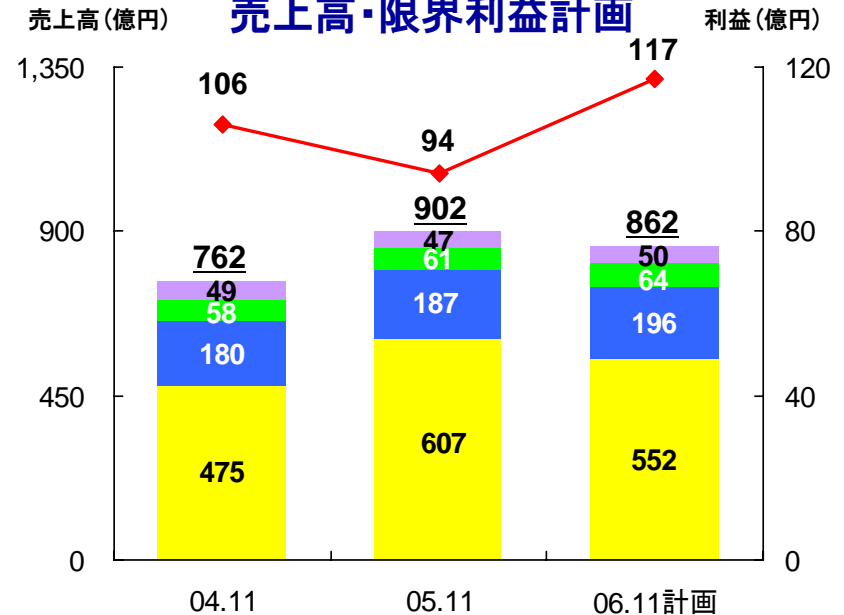
- マヨネーズ
- フルーツ加工・調理食品
- ドレッシング類
- ◆ 限界利益

サラダまわり調味料の拡大を推進

- オリジナル技術のマヨネーズに注力
- おいしさを究めたドレッシングを拡大
- 成長業種の攻略を強化

(数値表 P.13参照)

売上高・限界利益計画



- タマゴ素材品
- タマゴ加工品
- ファインケミカル
- その他
- ◆ 限界利益

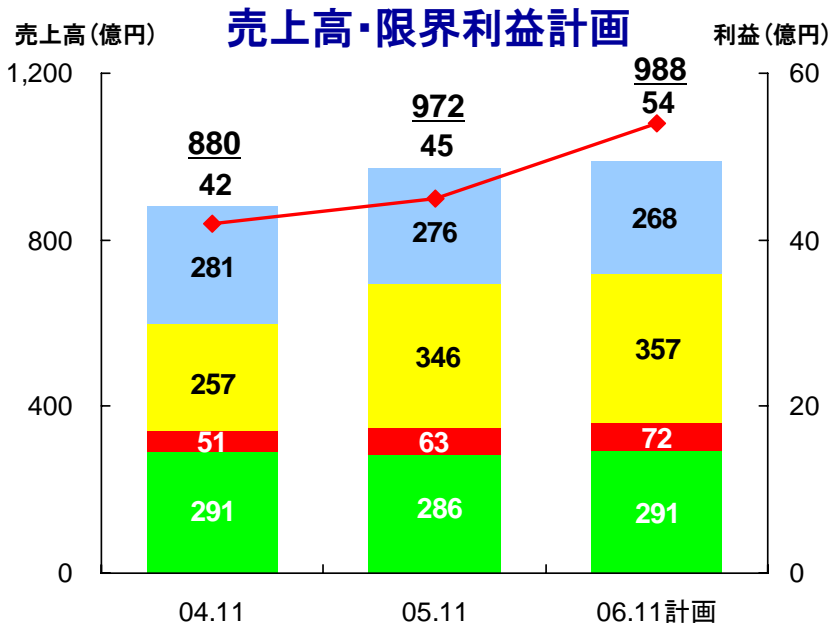
技術に基づく商品開発と販路の拡大を加速

- タマゴの機能を活かした商品を積極展開
- 料飲市場を攻略
- ヒアルロン酸を食品分野へ着実に拡大

(数値表 P.13参照)

野菜とサラダ事業

ヘルスケア事業

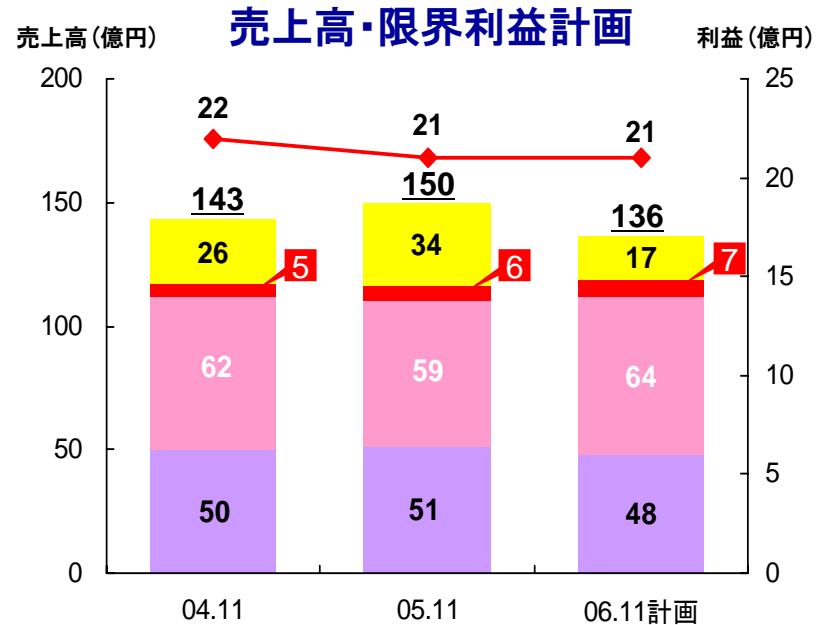


■ 惣菜・サラダ ■ カット野菜 ■ CVSベンダー
■ その他 ◆ 限界利益

利益体質を強化し増収増益

- 合理化のさらなる推進でコスト競争力を向上
- 取り扱い店舗数の拡大でカット野菜を強化

(数値表 P.13参照)



■ 育児食 ■ ヘルスフード ■ 介護食
■ その他 ◆ 限界利益

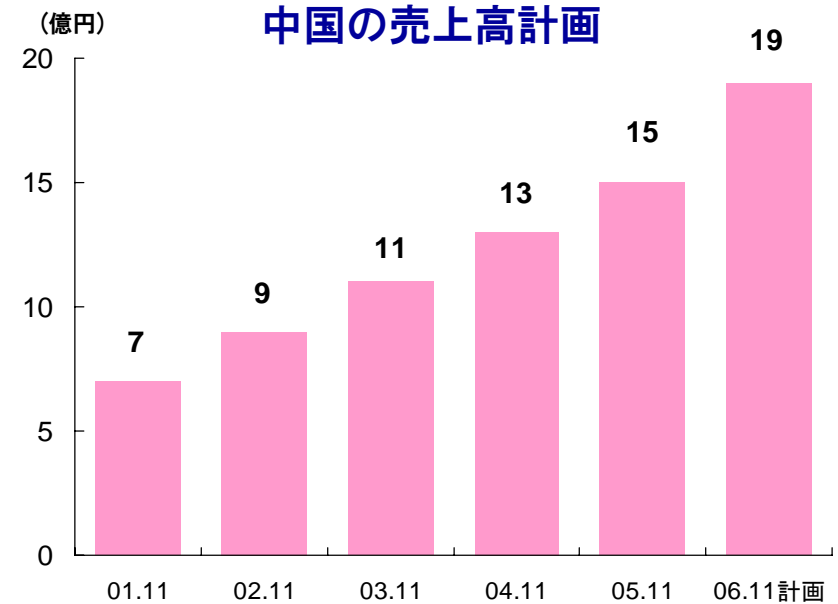
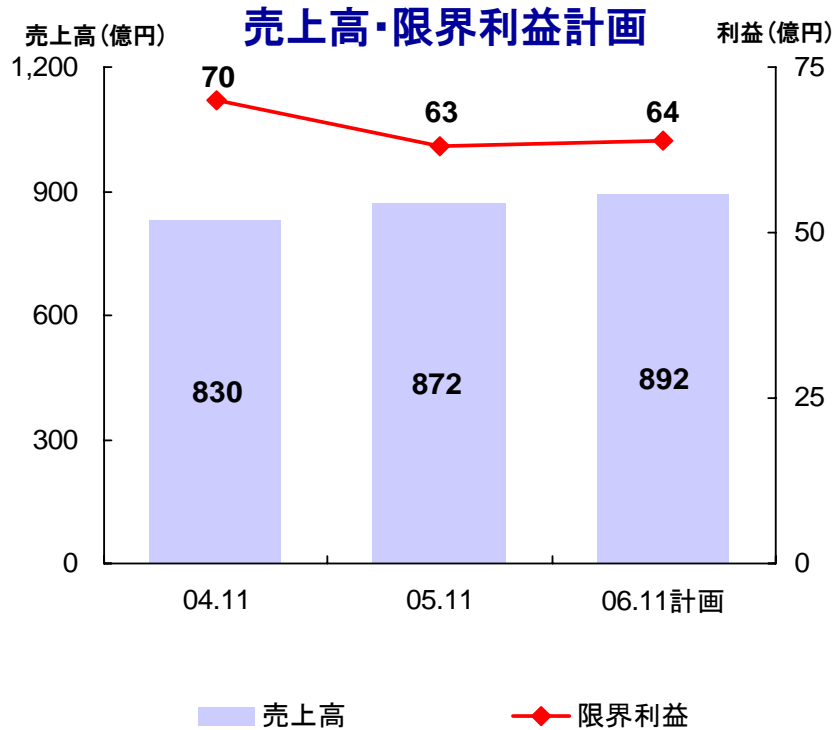
ヘルスフードの拡大に注力

- 新パウチ容器を軸に流動食を拡大
- 在宅医療向けに医療食の専門通販を展開
(腎臓病食、糖尿病食など)

(数値表 P.13参照)

物流システム事業

中国の状況



専用センター受注効果と効率化で増収増益

- 運送関連コスト（荷役・仕分）の削減
- 車輦大型化などで運送効率向上

主力商品の拡大と業務用への展開を本格化

- 「丘比ハーフ」の積極展開でマヨネーズを強化
- 独自のメニュー提案で料飲市場を攻略し、業務用商品を拡大

(数値表 P.13参照)

データ集

公表数値まとめ

(億円)

	02.5	03.5	04.5	05.5	06.5	05.11	06.11計画
売上高	2,134	2,179	2,058	2,253	2,251	4,550	4,550
マヨネーズ・ドレッシング事業	555	559	563	578	583	1,152	1,165
マヨネーズ	312	300	291	289	280	570	555
ドレッシング	243	259	272	289	303	582	610
フルーツ加工・調理食品事業	268	263	254	250	253	503	507
タマゴ事業	385	415	338	459	427	902	862
タマゴ素材品	259	267	196	323	287	607	552
タマゴ加工品	96	95	94	90	93	187	196
ファインケミカル	20	26	27	29	28	61	64
その他	10	27	21	17	19	47	50
ヘルスケア事業	70	63	78	68	62	150	136
育児食	26	26	24	25	23	51	48
ヘルスフード	26	29	33	29	29	59	64
介護食	2	2	1	3	3	6	7
その他	16	6	20	11	7	34	17
野菜とサラダ事業	465	485	421	468	485	972	988
惣菜・サラダ	142	162	147	136	140	286	291
カット野菜	8	22	23	30	34	63	72
CVSベンダー	92	102	114	166	175	346	357
その他	223	199	137	136	136	276	268
物流システム事業	391	394	404	430	442	872	892
限界利益	263	264	258	236	254	486	513
コア事業	144	147	142	143	136	263	257
タマゴ事業	52	52	55	32	56	94	117
ヘルスケア事業	10	10	10	10	9	21	21
野菜とサラダ事業	24	24	18	19	22	45	54
物流システム事業	33	31	33	32	31	63	64
販売促進費	117	106	113	104	112	225	233
広告宣伝費	41	45	47	48	46	95	88
物流費	118	123	119	129	129	264	263
労務費	102	93	99	99	95	197	195
設備投資	102	76	74	50	84	122	141
減価償却費	55	61	60	59	58	123	124

（注意事項）

この説明会資料に掲載されている、キューピー株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。これらは、現在入手可能な情報から得られたキューピー株式会社の経営者の判断に基づいており、過度の信用を置かれませぬようお願いいたします。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また、この説明会資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。